

2022年3月期

決算説明会
プレゼンテーション資料

2022年5月27日

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

INDEX

I. 2022年3月期 決算の概要

- 1. 決算概要（連結、セグメント別）… P 3
- 2. 損益計算書（連結、個別）… P 5
- 3. 部門別の概況… P 7
- 4. 貸借対照表（連結、個別）… P 13
- 5. キャッシュ・フロー（連結）… P 17

II. 中期経営計画の概要

- 1. 中期経営計画の展開状況… P 19
- 2. 前中期経営計画の評価… P 20
- 3. 新中期経営計画 骨子… P 25
- 4. 新中期経営計画… P 26
 - 企業理念と長期ビジョン
- 5. 新中期経営計画 重点施策… P 27

- 6. 新中期経営計画… P 32
 - 経営目標と経営指標
- 7. 新中期経営計画 財務方針… P 33

III. 2023年3月期 業績見通し

- 1. 2023年3月期の業績見通し（連結）… P 35
- 2. 配当… P 36



I. 2022年3月期 決算の概要



ラサ商事株式会社

1. 2022年3月期 ①決算概要（連結）

● 経営環境

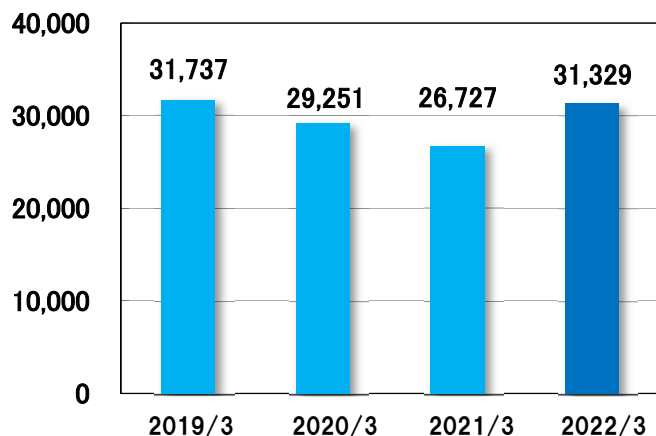
- 我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で全体として持ち直しの動き
- 変異株による感染再拡大の懸念やウクライナ情勢等により、先行きは依然として不透明な状況

● 決算概要

- 売上高は、主に資源・金属素材関連、プラント設備・工事関連、化成品関連が増収
- 利益は、プラント・設備工事関連の貢献が大きく、さらに販売効率の改善や経費の抑制に努めたことから増益

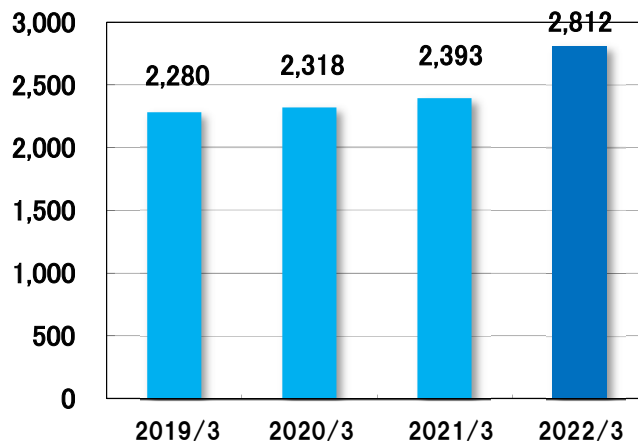
売上高（百万円）

313億2千9百万円
(前期比 +17.2%)



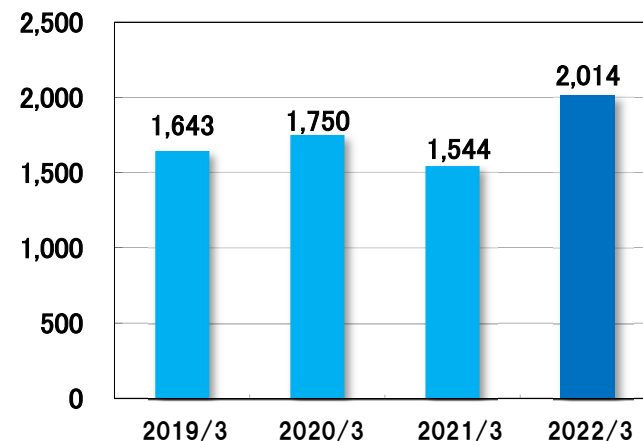
経常利益（百万円）

28億1千2百万円
(前期比+17.5%)



当期純利益（百万円）

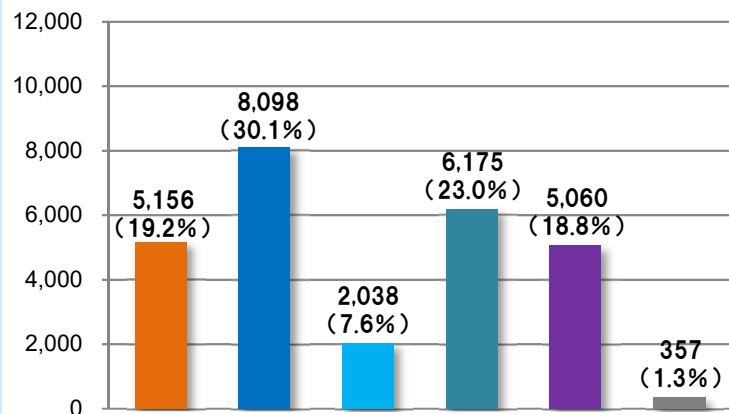
20億1千4百万円
(前期比 +30.4%)



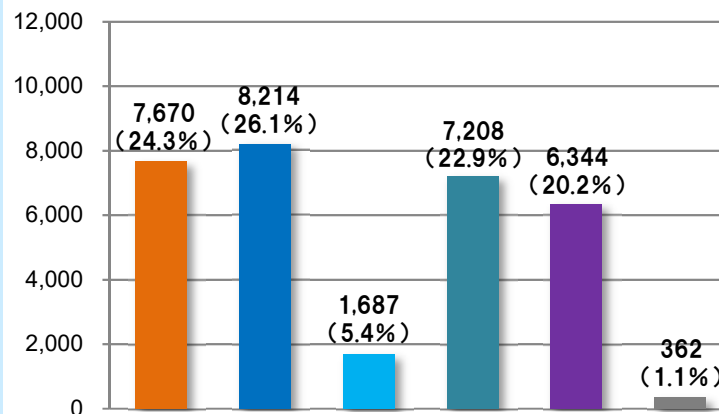
1. 2022年3月期 ②決算概要（セグメント別）

売上高

2021年3月期



2022年3月期



資源・金属素材
関連

産機・建機
関連

環境設備
関連

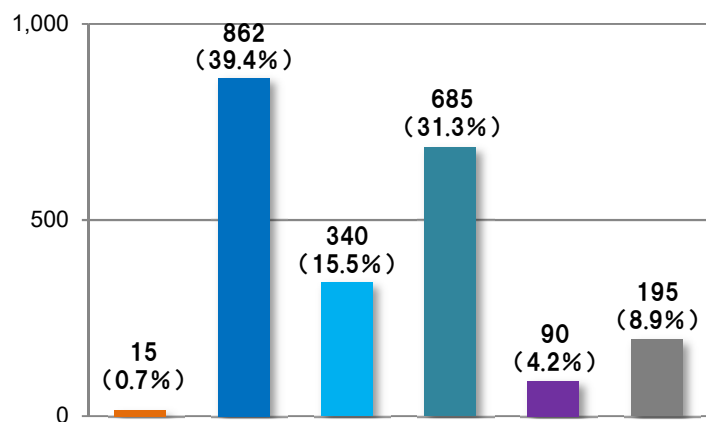
プラント・設備工事
関連

化成品
関連

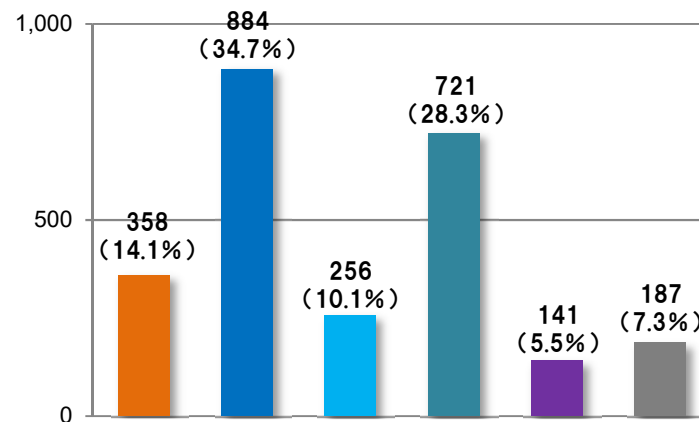
不動産賃貸
関連

営業利益

2021年3月期



2022年3月期



注)
①売上高はセグメント間の内部売上高を含む。
②営業利益の構成比は、全社費用を除く報告セグメント合計を分母として算出。

2. 2022年3月期 ①損益計算書（連結）

（単位：百万円・％）

	前期 (2021.3)		当期 (2022.3)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	26,727	100	31,329	100	4,601	17.2
資源・金属素材関連	5,156	19.3	7,670	24.5	2,513	48.7
産機・建機関連	8,098	30.3	8,214	26.2	115	1.4
環境・設備関連	2,038	7.6	1,687	5.4	▲351	▲17.2
プラント・設備工事関連	6,175	23.1	7,208	23.0	1,033	16.7
化成品関連	5,060	18.9	6,344	20.2	1,283	25.4
不動産賃貸関連	357	1.3	362	1.2	5	1.7
セグメント間調整額	▲158	▲0.5	▲158	▲0.5	0	-
売上総利益	6,039	22.6	6,520	20.8	481	8.0
販売費及び一般管理費	3,848	14.4	3,969	12.7	121	3.1
営業利益	2,190	8.2	2,551	8.1	360	16.5
営業外収支	203	0.8	261	0.8	58	28.6
経常利益	2,393	9.0	2,812	9.0	418	17.5
特別利益	0	-	70	0.2	70	-
特別損失	223	0.8	2	-	▲221	▲99.1
税引前当期利益	2,170	8.1	2,880	9.2	710	32.7
当期純利益	1,544	5.8	2,014	6.4	469	30.4
1株当り当期純利益(円)	132.84		173.22		40.4	
1株当り配当金(円)	38		50		12	
配当性向(%)	28.6		28.9		0.3	

2. 2022年3月期 ②損益計算書（個別）

（単位：百万円・％）

	前期 (2021.3)		当期 (2022.3)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	15,293	100	17,572	100	2,279	14.9
資源・金属素材関連	5,156	33.7	7,670	43.7	2,513	48.7
産機・建機関連	8,098	53.0	8,214	46.7	115	1.4
環境設備関連	2,038	13.3	1,687	9.6	▲351	▲17.2
売上総利益	4,473	29.2	4,812	27.4	339	7.6
販売費及び一般管理費	3,254	21.3	3,381	19.2	127	3.9
営業利益	1,218	8.0	1,430	8.1	212	17.4
営業外収支	49	0.3	98	0.6	49	100.0
経常利益	1,268	8.3	1,527	8.7	259	20.4
特別利益	0	-	70	0.4	70	-
特別損失	71	0.5	1	-	▲70	▲98.6
税引前当期利益	1,196	7.8	1,596	9.1	400	33.4
当期純利益	836	5.5	1,099	6.3	263	31.4
1株当り当期純利益(円)	71.39		93.80		22.41	

3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- 自動車の減産、中国での電力制限や環境規制など不安定要素はあったものの、世界的な資源価格の上昇に伴い、当社取り扱い原料の相場価格も上昇し、増収増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2020.3)	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	前期との差 (%)	前々期 (2020.3)	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	前期との差 (%)
ジルコン・チタン原料	2,431	1,885	3,432	1,546 (82.0)	2,494	1,943	3,943	1,999 (102.9)
輸入原料	1,774	1,149	1,833	684 (59.5)	1,796	1,254	1,970	716 (57.1)
金属シリコン	2,570	1,820	2,083	263 (14.4)	2,211	1,910	1,861	▲49 (▲2.6)
その他商品	309	301	322	21 (7.0)	327	303	321	18 (5.9)
合計	7,084	5,156	7,670	2,513 (48.7)	6,828	5,411	8,095	2,683 (49.6)
粗利益率	9.26	8.87	10.21	1.34	9.31	9.04	12.40	3.36

3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 産機・建機関連では、民間設備稼働状況が安定的に推移し、官庁のメンテナンス需要も高まり各種ポンプ関係の販売・整備は堅調

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2020.3)	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	前期との差 (%)	前々期 (2020.3)	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	前期との差 (%)
スラリーポンプ 販売、メンテナンス等	5,464	5,378	5,396	18 (0.3)	5,794	5,200	5,616	416 (8.0)
その他産業機械	1,588	1,677	1,698	21 (1.2)	1,670	1,738	1,540	▲197 (▲11.4)
産業機械 計	7,052	7,055	7,094	39 (0.6)	7,464	6,938	7,156	218 (3.1)
シールド掘進機	1,224	944	1,039	95 (10.0)	1,322	953	1,106	154 (16.1)
その他建設機械	185	99	81	▲18 (▲18.1)	117	96	81	▲14 (▲15.1)
建設機械 計	1,409	1,043	1,120	77 (7.4)	1,439	1,048	1,187	139 (13.3)
合計	8,461	8,098	8,214	115 (1.4)	8,903	7,985	8,344	359 (4.5)

3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 民間向けポンプの販売は好調に推移したものの、官庁向けポンプ及び水砕スラグ製造設備の大型案件が一巡したことから減収減益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2020.3)	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	前期との差 (%)	前々期 (2020.3)	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	前期との差 (%)
水砕スラグ製造設備	787	595	419	▲176 (▲29.5)	453	429	358	▲71 (▲16.5)
プツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	1,021	1,111	838	▲274 (▲24.6)	1,076	910	939	29 (3.2)
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	488	333	431	98 (29.5)	447	356	319	▲37 (▲10.3)
合計	2,296	2,039	1,687	▲351 (▲17.2)	1,976	1,694	1,616	▲78 (▲4.6)

3. 部門別の概況 ④プラント・設備工事関連

- 子会社旭テックが担うセグメント
- 大型工事の完工と収益認識会計基準を適用したことによる増収増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	増減額	増減率	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	増減額	増減率
プラント・設備工事関連	6,175	7,208	1,033	16.7	5,104	4,012	▲1,092	▲21.4

3. 部門別の概況 ⑤化成品関連

- 子会社イズミが担うセグメント
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたが、経済活動の再開に伴い事業環境の復調
気運の高まりにより、自動車、電線、建材、潤滑剤の各分野での受注が回復し、増収増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	増減額	増減率	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	増減額	増減率
化成品関連	5,060	6,344	1,283	25.4	5,170	6,401	1,231	23.8

3. 部門別の概況 ⑥不動産賃貸関連

- 子会社ラサ・リアルエステートの担うセグメント
- 売上高は前期までの新型コロナウイルス感染拡大による一時的な賃料引き下げがなくなり、下期にはテナントビルの一部空室も解消されたことから増収
- 管理業務委託費や修繕費が増加したことから減益

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	増減額	増減率
不動産賃貸関連	357	362	5	1.7

4. 貸借対照表 (連結) ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2021.3)		当期末 (2022.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	18,761	59.6	18,702	59.6	▲58	▲0.3
現金及び預金	4,677		4,445		▲231	▲4.9
受取手形及び売掛金	6,510		0		▲6,510	-
受取手形、売掛金及び契約資産	0		9,518		9,518	-
電子記録債権	1,567		1,767		200	12.8
完成工事未収入金	2,040		0		▲2,040	-
商品及び製品	2,145		2,633		488	22.8
未成工事支出金	1,698		19		▲1,679	▲98.9
その他	120		318		198	165.0
固定資産	12,694	40.4	12,684	40.4	▲10	▲0.1
有形固定資産	7,962	(25.3)	7,835	(25.0)	▲127	▲1.6
建物及び構築物	1,814		1,705		▲109	▲6.0
土地	6,000		6,000		0	-
その他	147		129		▲18	▲12.2
無形固定資産	264	(0.8)	232	(0.7)	▲32	▲12.1
投資その他資産	4,467	(14.2)	4,616	(14.7)	149	3.3
投資有価証券	3,200		3,308		107	3.3
保険積立金	920		982		61	6.6
その他	346		326		▲20	▲5.8
資産合計	31,455	100.0	31,387	100.0	▲68	▲0.2

4. 貸借対照表 (連結)

②負債・純資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2021.3)		当期末 (2022.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	10,159	(32.3)	8,622	(27.5)	▲1,537	▲15.1
支払手形及び買掛金	3,282		3,169		▲113	▲3.4
電子記録債務	676		1,471		795	117.6
工事未払金	391		544		153	39.1
短期借入金	1,830		1,690		▲140	▲7.7
1年内返済予定の長期借入金	834		440		▲394	▲47.2
未払法人税等	549		420		▲129	▲23.5
未成工事受入金	1,358		0		▲1,358	-
契約負債	0		123		123	-
賞与引当金	325		310		▲15	▲4.6
その他	911		453		▲458	▲50.3
固定負債	3,627	(11.5)	3,607	(11.5)	▲20	▲0.6
長期借入金	2,992		2,904		▲87	▲2.9
繰延税金負債	309		355		46	14.9
退職給付に係る負債	30		24		▲6	▲20.0
役員株式給付引当金	75		95		20	26.7
その他	220		227		7	3.2
負債合計	13,787	43.8	12,230	39.0	▲1,557	▲11.3
株主資本	17,465		19,000		1,535	8.8
その他の包括利益累計額	203		156		▲47	▲23.2
純資産合計	17,668	56.2	19,156	61.0	1,488	8.4
負債純資産合計	31,455	100.0	31,387	100.0	▲68	▲0.2
自己資本比率 (%)	56.2		61.0		4.8	

4. 貸借対照表（個別） ①資産の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2021.3)		当期末 (2022.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	11,155	59.4	12,342	62.0	1,187	10.6
現金及び預金	3,194		2,947		▲247	▲7.7
受取手形	696		727		31	4.5
電子記録債権	774		987		213	27.5
売掛金	4,014		4,925		911	22.7
商品	2,081		2,572		491	23.6
その他	392		182		▲209	▲53.5
固定資産	7,612	40.6	7,575	38.0	▲38	▲0.5
有形固定資産	670	(3.6)	653	(3.3)	▲17	▲2.5
建物	106		101		▲5	▲4.7
土地	464		464		0	-
その他	97		86		▲11	▲11.3
無形固定資産	219	(1.2)	175	(0.9)	▲44	▲20.1
投資その他資産	6,721	(35.8)	6,746	(33.9)	25	0.4
投資有価証券	786		664		▲122	▲15.5
関係会社株式	4,739		4,739		0	-
保険積立金	839		949		110	13.1
その他	354		390		36	10.2
資産合計	18,767	100.0	19,917	100.0	1,150	6.1

4. 貸借対照表（個別）

②負債・純資産の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2021.3)		当期末 (2022.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	4,707	25.1	5,456	27.4	749	15.9
支払手形	419		61		▲358	▲85.4
電子記録債務	676		1,180		504	74.6
買掛金	1,208		1,468		260	21.5
短期借入金	1,130		1,580		450	39.8
1年内返済長期借入金	222		174		▲48	▲21.6
未払金	156		106		▲50	▲32.1
未払法人税等	333		292		▲41	▲12.3
契約負債	0		100		100	-
賞与引当金	227		252		25	11.0
その他	333		237		▲96	▲28.8
固定負債	322	1.7	178	0.9	▲144	▲44.7
長期借入金	209		35		▲174	▲83.3
役員株式給付引当金	75		95		20	26.7
その他	37		48		11	29.7
負債合計	5,029	26.8	5,634	28.3	605	12.0
純資産合計	13,737	73.2	14,283	71.7	546	4.0
負債純資産合計	18,767	100.0	19,917	100.0	1,150	6.1
自己資本比率（％）	73.2		71.7		▲1.5	

5. キャッシュ・フロー (連結)

(単位:百万円)

	前期 (2021.3)	当期 (2022.3)	当期の主要項目	
営業キャッシュ・フロー	887	886	税金等調整前当期純利益	2,880
			売上債権及び契約資産の増減額(▲は増加)	▲1,167
			棚卸資産の増減額(▲は増加)	1,188
			仕入債務の増減額(▲は減少)	835
			契約負債の増減額(▲は減少)	▲1,304
			法人税等の支払額	▲898
投資キャッシュ・フロー	▲415	▲5	有形固定資産の取得による支出	▲39
			保険積立金の積立による支出	▲276
			保険積立金の払戻による収入	215
財務キャッシュ・フロー	▲73	▲1,113	短期借入金の純増減額(▲は減少)	▲140
			長期借入金の返済による支出	▲482
			配当金の支払額	▲479
換算差額	▲0	1		
増減	397	▲231		
期首残高	4,278	4,675		
期末残高	4,675	4,443		



Ⅱ. 新中期経営計画の概要



ラサ商事株式会社

1. 中期経営計画の展開状況

2021年度で前中期経営計画の3か年を終え
2022年度より新中期経営計画がスタート

2019年度

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度

前中期経営計画

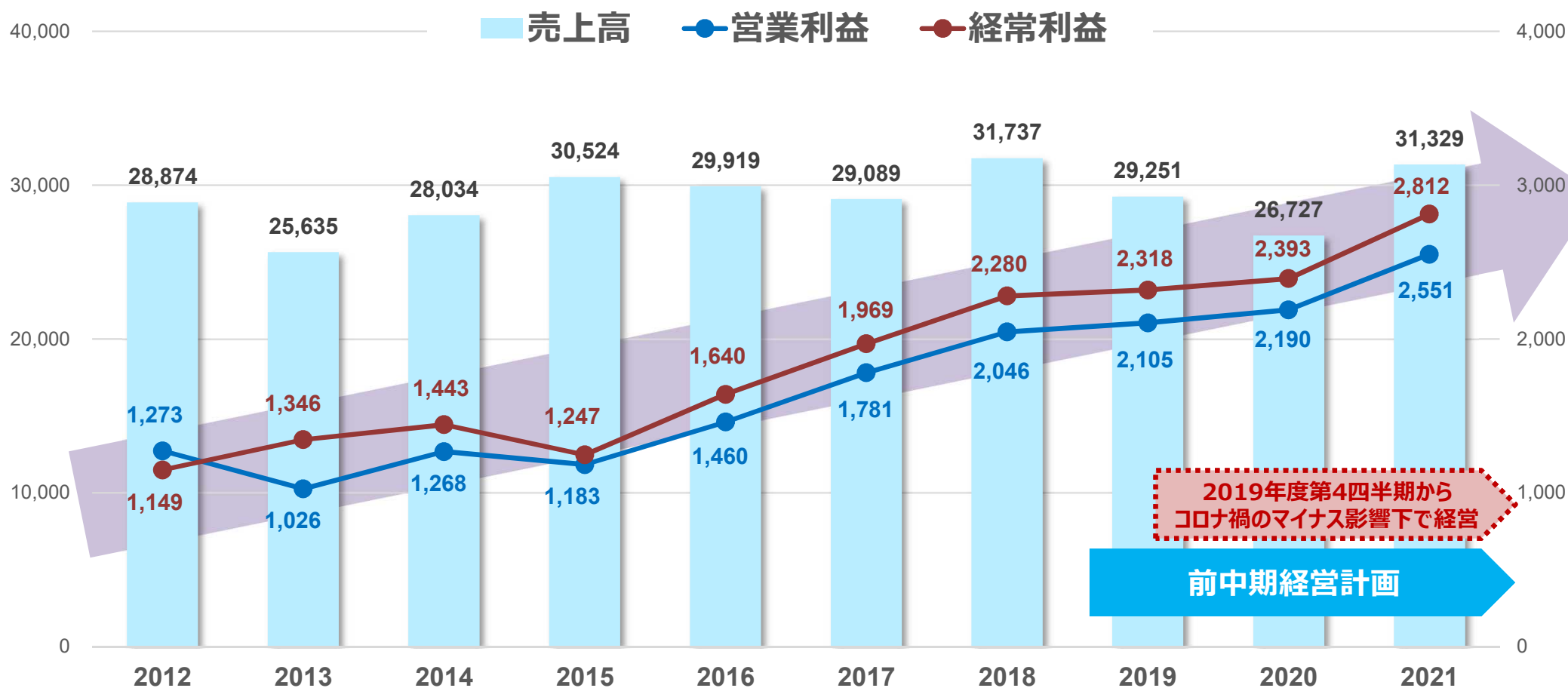
Value Up Rasa 2021
～企業価値の創造～

新中期経営計画

“Resilience” Rasa 2024
～再生から飛躍へ～

2. 前中期経営計画の評価 ① 定量面

持続的な経営基盤強化の取り組みにより、長期的な高収益化トレンドが着実に進展



2. 前中期経営計画の評価 ①定量面

売上高を除く各指標で、目標を達成

	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2021年度 目標
売上高	292億円	267億円	313億円	350億円
営業利益	21億円	21億円	25億円	23億円
経常利益	23億円	23億円	28億円	25億円
親会社に帰属する 当期純利益	17億円	15億円	20億円	17億円
ROE	11.0%	9.1%	10.9%	9%以上
売上高営業利益率	7.1%	8.2%	8.1%	6%以上
自己資本比率	54.6%	56.3%	61.0%	50%以上

2. 前中期経営計画の評価 ②定性面

主な成果など ①経営全般について

- **グループ企業間・事業間の連携によるシナジーが更に進展**
 - ・ピストンポンプ関連（メンテナンス案件の一部をラサ商事から旭テックに発注）など
 - ・人材スキルの向上（ラサ商事、大平洋機工、旭テック、イズミの間で人材交流）など
- **ESGを意識した事業の進展**
 - ・クリーンエネルギーへの貢献：バイオガス発電施設へのピストンポンプの納入
 - ・自然災害復旧活動への貢献：九州地区豪雨災害時に自治体へBETSY提供
被災した下水処理場ポンプの速やかな復旧と更新 など
- **経営基盤の強化を推進**
 - ・新基幹情報システムの最終構築を終え、クラウド型システムの運用を開始
 - ・評価の更なる公平化を図った新人事制度を導入
 - 生産性の向上、さらには収益性の向上につなげる制度体系が整う
 - その結果、コロナ禍、在宅勤務などの状況下でも収益力を維持することができた

2. 前中期経営計画の評価 ②定性面

主な成果など ②コーポレート・ガバナンスについて

- ラサ商事単体のガバナンスは、これまで、高度化の取り組みを着実に推進

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
社外取締役を選任	社外取締役を増員（1名⇒2名）						社外取締役を増員（2名⇒3名）
		当社取締役への業績連動型株式報酬制度を導入					
		取締役会の実効性評価を実施					
			監査等委員会設置会社へ移行				
					任意の指名・報酬委員会を設置		
					社長と社外取締役の定期的な懇談会を開催		
						女性取締役を選任	

- 一方、連結子会社「旭テック(株)」における不適切な会計処理発覚により、グループ・ガバナンスの脆弱性が大きな課題に

* 「旭テック(株)」は、2014年12月にM&Aにより連結子会社化

2. 前中期経営計画の評価 ②定性面

主な成果など ③事業別の成果等について

資源・金属素材 関連	<ul style="list-style-type: none">● 主力商品「ジルコンサンド」の高付加価値化と適正在庫管理が進展● 新たな資源開発関連商材の開拓を推進（チタン関連商材、ジルコニウム化合物など） * コロナ禍の影響を受け、開発の一時停止を余儀なくされたものの、状況の改善に伴い開発を再開
産機・建機関連	<ul style="list-style-type: none">● 営業情報の共有化、更新需要予測の徹底等により、更新需要の取り込みを推進● BCP関連製品（多目的可搬式ポンプユニット「BETSY」等）の拡販と新市場開拓を推進 → 国、主要自治体、及び民間企業に実績増加● 東南アジアにおける小口径シールド掘削機等の建設機械の拡販で一定の成果
環境設備関連	<ul style="list-style-type: none">● 次期以降の新市場創造の足掛かりとして、水砕スラグ製造設備「ラサ・システム」の非鉄精錬ユーザーへの販路開拓を推進● 改良製品の開発と拡販（ポンプ油圧機構の改良による省エネ化の実現など）
プラント・設備工事 関連	<ul style="list-style-type: none">● 前3か年で築き上げた事業基盤（新工場建設と人材強化）を基礎に、新たな需要の取り込みに成功 → 電力関連および民間からの大型工事の受注が拡大
化成品関連	<ul style="list-style-type: none">● 主力商品の一部において、販売価格連動性を導入、三国間貿易の再開
不動産賃貸関連	<ul style="list-style-type: none">● グループ保有不動産の更なる有効活用を推進

3. 新中期経営計画

2022年度

2023年度

2024年度

新中期経営計画

“Resilience” Rasa 2024

～再生から飛躍へ～

グループ・ガバナンスの再構築から“再生”を始動させ、
社会インフラを支える付加価値創出企業としての
新たな“飛躍”を目指す

4. 企業理念と長期ビジョン

持続可能な社会の実現への寄与と、グループ全体の持続的な成長を同時に目指すべく、長期ビジョンを策定しました。

企業理念

世界に通用する一流技術商品と有用な価値ある資源を国内外に販売し、豊かな社会に貢献する



長期ビジョン (10年後の目指す姿)

専門商社の枠組みを超えて、**社会のインフラを支える付加価値創出企業へ**

5. 重点施策

① グループ・ガバナンスの確立

②

グループの連携強化による
シナジーの追求

③

既存事業の収益基盤強化
と新規事業機会の獲得

④ 事業を通じたサステナビリティへの取り組み

グループ・ガバナンスの確立

今後のラサ商事グループの“再生から飛躍へ”に向けた確かな歩みの基礎として、「グループ・ガバナンスの確立」を本中期経営計画の最重要課題と位置づけ、真摯に取り組む

● グループ企業における内部統制等の再構築

- 【旭テック(株)】… ● 新人事制度構築による組織の活性化
● 新基幹情報システム導入による内部統制強化

- 【イズミ(株)】…… ● 内部統制の構築

● グループ・ガバナンスの継続的モニタリングの実施

グループの連携強化によるシナジーの追求



連携強化による シナジーの追求

グループ企業間における
継続的人事交流の実施

建設工事における安全衛生対策
等に関する情報共有化による
安全対策レベルの引上げ

共同営業による受注強化

【重点施策③】

既存事業の収益基盤強化と新規事業機会の獲得

事業セグメント	既存事業の収益基盤強化	新規事業機会の獲得
資源・金属 素材関連	<ul style="list-style-type: none"> ● ジルコンサンドの安定的な調達・供給体制の強化と適正な在庫管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな資源関連商材の開拓 (チタン関連商材、二次電池関連商材他)
産機・建機 関連	<ul style="list-style-type: none"> ● BCP関連商品の拡販と新規導入 ⇒ 多目的可搬式ポンプユニット「BETSY」の拡販 ⇒ 「耐水型汚泥ポンプ」のBCP市場への導入 	<ul style="list-style-type: none"> ● クリーンエネルギー戦略に則した製品の開発と受注拡大 (スラリーポンプの高効率化、新材質開発による部品の長寿命化) ● 環境負荷を低減した小口径掘進機の開発と新市場の開拓
環境設備 関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 非鉄製錬ユーザー等への水砕スラグ製造設備 「ラサ・システム」の販売強化 ● 設備負荷を軽減する高機能水処理用薬品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ● 低含水率汚泥用の圧送ポンプの開発
プラント・設備 工事関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 建屋プレファブエリア（1800坪）を活かした 大型加工工事の受注強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 官庁整備案件の受注強化
化成品関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕入先メーカーとの関係強化 ● 原料価格相場変動に対応した販売価格連動制の推進 	
不動産賃貸 関連	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ保有不動産に関する有効活用の継続的検討 	

事業を通じたサステナビリティへの取り組み

社会・環境課題への取り組み

- 各事業におけるサステナブルな製品開発・供給を推進
- バイオガス、水力、地熱発電向けポンプ応用技術の可能性を追求
- 化成品関連商品におけるカーボンニュートラル対応商品の展開
- 再生可能エネルギーの利用促進
(自家消費型太陽光発電の継続利用及び新規導入検討)
- 社会・環境貢献に関する取り組み
(自然環境保護、水・衛生環境改善、感染症予防など)
- 本社ビル等のエコ電力導入の検討

人財への取り組み

- オンライン営業やリモートワークなど新たな働き方の模索
- 女性活躍推進法に基づく女性の積極的採用と営業職での育成強化

6. 経営目標と経営指標(連結)

(単位：百万円)

	2021年度 (実績)	2022年度 (計画)	2023年度 (計画)	2024年度 (目標)	
経営目標 (連結)	売上高	31,329	28,000	29,000	32,000
	営業利益	2,551	1,900	2,000	2,300
	経常利益	2,812	2,000	2,100	2,500
	親会社に 帰属する 当期純利益	2,014	1,450	1,500	1,800
目標とする 経営指標 (連結)	ROE	10.9%	—	—	9%以上
	売上高営業利益率	8.1%	—	—	6%以上
	自己資本比率	61.0%	—	—	50%以上

【2024年度の利益目標が2021年度実績を下回る計画となっている理由】

プラント設備・工事関連事業において、組織の整備、ガバナンスの確立のために、人材やシステムなどへの投資に注力する計画となっていることに加え、建設資材の高騰、資材不足による工期延長などが少なからず業績に影響することが見込まれるため

7. 財務方針

投資方針

財務の健全性に配慮しつつ、企業価値向上に資するM&A案件があれば、機動的に対処するとともに、将来を見据えた能力増強や業務効率化に資する投資も継続して行う。

本中期経営計画には新たなM&Aによる売上や収益への寄与は織り込んでおりません。

配当方針

株主様への利益還元については、重要な経営課題との認識のもと、安定配当を基本方針とする。

配当性向は
引き上げる方針

【従来】
30%前後



【2022年度~】
40%前後



Ⅲ. 2023年3月期 業績見通し



ラサ商事株式会社

1. 2023年3月期の業績見通し（連結）

国内外の景気動向は不透明ながらも需要の回復が見込まれるが、プラント・設備工事関連での組織整備、ガバナンス確立の為の投資や、建設資材の高騰や資材不足による工期延期などが想定されることから業績の落ち込みが見込まれる。

（単位：百万円・％）

【連結】	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増 減	増減率
売上高	31,329	28,000	▲3,329	▲10.6
売上総利益	6,520			
販売費及び一般管理費	3,969			
営業利益	2,551	1,900	▲651	▲25.5
経常利益	2,812	2,000	▲812	▲28.9
当期純利益	2,014	1,450	▲564	▲28.0
1株当り当期純利益（円）	173.22	124.71	▲48.51	▲28.0

2. 配当

配当実績 (1株当たり)

- **2022年3月期実績 50円**
【中間】21.0円 【期末】29.0円
- **2023年3月期予想 50円**
【中間】25.0円 【期末】25.0円

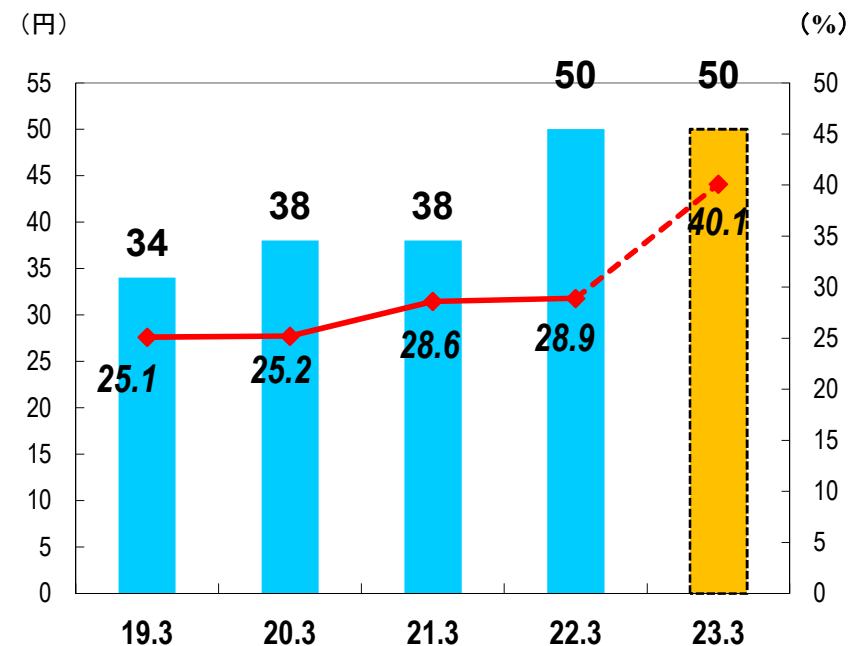
配当方針 (2022年3月期より)

安定配当



配当性向
40%前後

配当金・配当性向の推移



【2022年3月期実績】 28.9%
【2023年3月期予想】 40.1%

● 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

● I Rに関する問い合わせ先

ラサ商事株式会社 経営企画室

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号 RASA日本橋ビルディング
TEL : 03-3668-8232

URL: <https://www.rasaco.co.jp/> *「お問い合わせ」をクリックしてください。